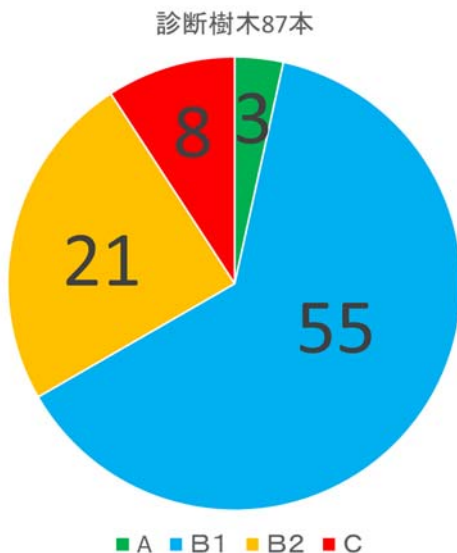


樹木診断結果の報告を行いました

金沢土木事務所では、2019年12月に樹木医による富岡緑地内のサクラの樹木診断を行いました。その診断結果について、2020年2月26日に樹木医及び担当職員から地域住民の皆様へ報告させていただきました。

1、診断結果について

富岡緑地のサクラの多くが枯枝、幹に空洞、キノコの発生等があることが分かりました。



A : 健全。

B1 : 直ちに倒木する危険はないが、幹や根元に枯部分が多い。
。将来、大きく剪定することで状態が悪くなることが予想される。特段の理由がなければ、新しい樹木を植え替えていくのが望ましい。

B2 : B1と同様。程度がB1よりさらにひどいため、こちらも植替えが望ましい。

C : 危険。早めに根元から伐採する必要。

2、樹木の伐採について

樹木診断の結果、倒木の危険がある樹木（C判定：8本）については、今年の5～6月頃に伐採する予定です。それ以外の樹木は、再整備工事を進めるなかで適宜伐採し、新植または移植を行います。

3、再整備工事について

令和2年度の冬から順次行っていく予定です。その際、道路や階段から離してサクラの植栽をします。詳細は別紙をご覧ください。



設計の大枠ができた段階で、地域の皆様に設計案をみていただき、ヒアリングを行う予定です。今後ともご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。